

令和4年4月 発地別延べ宿泊者数割合

【国内】

(単位：人泊、%)

	県内	福岡県	その他九州	四国	中国	近畿	中部	関東	東北・北海道	国内計
令和4年4月(速速報値)	47,809	93,087	41,538	5,592	17,456	21,347	10,020	38,577	3,240	278,666
令和3年4月(速速報値)	41,889	67,465	30,189	2,853	9,562	12,722	5,404	23,968	1,738	195,790
前年同月比	114.1	138.0	137.6	196.0	182.6	167.8	185.4	161.0	186.4	142.3
令和2年4月(速報値)	12,765	23,534	9,984	1,257	3,455	4,522	1,833	7,788	720	65,858
令和2年同月比	374.5	395.5	416.0	444.9	505.2	472.1	546.6	495.3	450.0	423.1
令和元年4月(確報値)	47,964	94,533	57,175	11,793	28,262	31,165	16,226	50,294	6,638	344,050
令和元年同月比	99.7	98.5	72.7	47.4	61.8	68.5	61.8	76.7	48.8	81.0
令和4年3月(速速報値)	50,543	91,974	38,461	5,618	19,825	31,002	15,055	53,871	4,562	310,911
前月比	94.6	101.2	108.0	99.5	88.1	68.9	66.6	71.6	71.0	89.6

【国外】

	韓国	中国	香港	台湾	タイ	その他アジア	欧米豪その他	外国小計
令和4年4月(速速報値)	*	*	*	*	*	*	*	1,930
令和3年4月(速速報値)	28	20	3	4	4	285	214	558
前年同月比	*	*	*	*	*	*	*	345.9
令和2年4月(速報値)	14	29	0	18	4	222	210	497
令和2年同月比	*	*	*	*	*	*	*	388.3
令和元年4月(確報値)	44,947	5,663	9,031	11,778	2,417	3,307	3,975	81,118
令和元年同月比	*	*	*	*	*	*	*	2.4
令和4年3月(速速報値)	*	*	*	*	*	*	*	1,096
前月比	*	*	*	*	*	*	*	176.1

* 令和4年発地別宿泊者数(速速報値)は、サンプル数が過小のため表示しない

【全体】

	合計
令和4年4月(速速報値)	280,596
令和3年4月(速速報値)	196,348
前年同月比	142.9
令和2年4月(速報値)	66,355
令和2年同月比	422.9
令和元年4月(確報値)	425,168
令和元年同月比	66.0
令和4年3月(速速報値)	312,007
前月比	89.9

R3年1月調査から、宿泊客数調査の対象を従業員数10人以上の全施設(187施設)に変更しました。
この変更に伴い、R2年、R元年の公表値についても同規模施設数の推計値に再計算しています。
※発地別延べ宿泊者数は、速報の公表時に大きく変更されることがあります。

出典：大分県観光統計調査

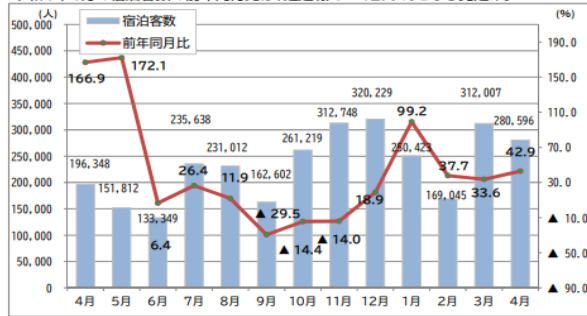
<傾向・分析>

- 国内の延べ宿泊者数は前年同月比142.3%。大分県では2月下旬にまん延防止等重点措置が解除となり、4月より新しいおおいの旅割の対象を近隣県在住者へも広げたことなどから、全国的にまん延防止等重点措置が出された前年同月と比べると増加となった。新型コロナウイルス感染症流行後初めて全国に緊急事態宣言が発令された令和2年同月比は423.1%。
一方、令和元年同月比は81.0%と、コロナ禍前の水準には未だ戻ってはいない。しかし、県内宿泊者は99.7%、福岡県からの宿泊者は98.5%と、旅割等の影響もあり発地によってはコロナ前の水準に近づいている。
前月比は89.6%。例年春休みシーズンの3月に比べると4月は減少傾向にあることから全体としては前月比はマイナスとなったが、4月より「新しいおおいの旅割」の対象に加わった福岡県は101.2%、その他九州は108.0%とエリアによっては増加傾向となっている。
- 国外の延べ宿泊者数は、前年同月比345.9%、令和2年同月比388.3%、前月比176.1%となっているが、コロナ禍前の令和元年同月比は2.4%と、観光目的の入国は未だ制限が続いている為、依然として厳しい状態が続いている。
- 全体の延べ宿泊者数は、前月比89.9%、前年同月比142.9%、令和2年同月比は422.9%。コロナ禍前の令和元年同月比では66.0%となっている。

令和4年4月の宿泊客等の動向
(令和3年3月～12月速速報、令和4年1月～3月速速報)

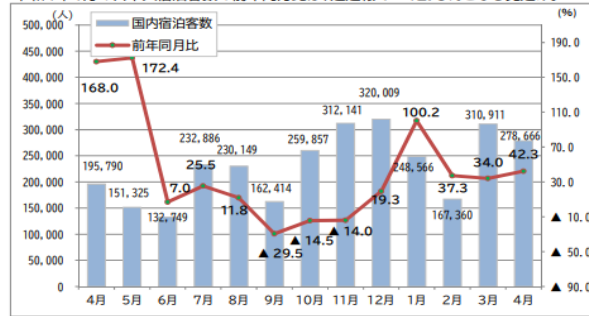
(1) 宿泊客の動向

令和4年4月の宿泊客数の前年同月比は、速速報で+42.9%となる見込み。



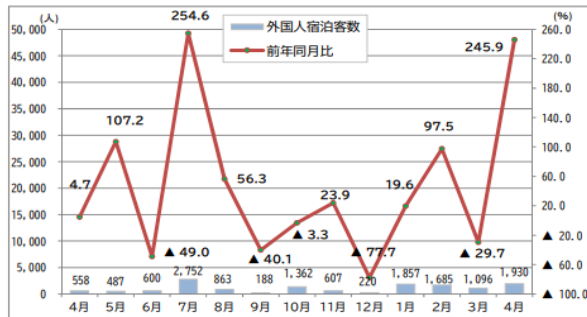
(1)-①日本人宿泊客の動向

令和4年4月の日本人宿泊客数の前年同月比は、速速報で+42.3%となる見込み。



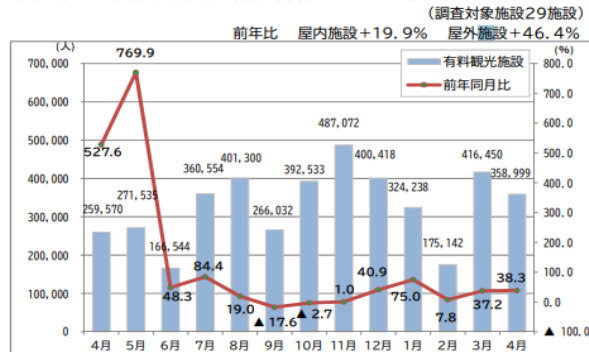
(1)-②外国人宿泊客の動向

令和4年4月の外国人宿泊客数の前年同月比は、速速報で+245.9%となる見込み。



(2) 有料観光施設(入場客)の動向

令和4年4月の有料観光施設(入場客)の前年同月比は、速速報で+38.3%となる見込み。



※観光施設の前年同月比は、休業業・未提出施設を除いて算出しているため、過去に公表している値と比較すると一致しない場合があります。

出典：大分県観光統計調査

<傾向・分析>

- 日本人宿泊客は昨年4月、新型コロナウイルス感染症第4波の影響で全国的に感染者数が増加、全国各地で「まん延防止等重点措置」の適用や緊急事態宣言が発令され、減少傾向となった。6月末に9都道府県にて緊急事態宣言が解除されたのち、7月には増加に転じるものの、7月末からの感染者数の増加や緊急事態宣言地域の拡大などにより8月・9月の宿泊客数は減少傾向が続いた。9月末に全国で緊急事態宣言が解除となり、「新しいおおいの旅割」も再開となったことから10月・11月は増加、12月6日からは「新しいおおいの旅割」の対象に近隣県も加わったことなどから更に増加したが、オミクロン株の感染拡大の影響により県内でもまん延防止等重点措置が適用となった1月・2月は2カ月連続で減少となった。
- 3月に入り全国各地でまん延防止等重点措置が解除されたことなどから、第6波の前と同水準まで持ち直し、4月に入っても感染者数こそ増加傾向にあるが、宿泊客数はさほど減少していない。
- 有料観光施設の動向については前年同月比138.3%。こちらも国内宿泊客の動向と同水準で推移している。
- 外国人宿泊客は、未だ観光目的での入国が制限されていることなどから、依然として低水準が続いている。
- 全体においては、未だインバウンドの回復が見られない中、国内宿泊者の動きがそのまま反映されたかたち。国内宿泊者の動きは、今年3月・4月と感染者数こそ減少はみられないものの、各種規制措置等の解除やトラベルキャンペーン等が実施されたことなどにより宿泊客数は比較的高水準が続いている。Withコロナの生活がスタンダードになるにつれ、旅行や県をまたぐ移動に関しても気を付けながら行う人々が増えているのではないかと考えられる。